

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【公表番号】特表2016-530268(P2016-530268A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-535272(P2016-535272)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

C 0 7 K 16/28 Z N A

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月22日(2017.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物の免疫抑制を低減又は軽減するための医薬組成物の製造における作用剤の使用であって、前記作用剤は、前記哺乳動物の 1 つ又は複数の細胞における C D 9 6 活性を少なくとも部分的に阻害又は低減することにより、前記哺乳動物の免疫抑制を軽減し、又は、免疫監視を強化又は回復させる、使用。

【請求項 2】

前記哺乳動物における C D 9 6 活性を少なくとも部分的に阻害又は低減することが、前記哺乳動物の C D 9 6 発現細胞を死滅させることを含まないか、又は少なくともそれに依存しない、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記作用剤が、前記哺乳動物の C D 9 6 阻害剤である、請求項 1 又は請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記 C D 9 6 阻害剤が、C D 9 6 の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合

又は相互作用する、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記 CD96 阻害剤が、ドメイン 1；ドメイン 2；ドメイン 3；ドメイン 1 及びドメイン 2；ドメイン 1 及びドメイン 3；ドメイン 2 及びドメイン 3；並びにドメイン 1、ドメイン 2 及びドメイン 3 からなる群から選択される、CD96 の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合するか又はそれと相互作用する、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 6】

前記 CD96 阻害剤が、ヒト CD96 アイソフォーム 2（配列番号 2）の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合するか又はそれと相互作用する、請求項 4 又は請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記 CD96 阻害剤が、CD155 への CD96 の結合及び CD96 による細胞内シグナル伝達の少なくとも一方を少なくとも部分的に阻止又は阻害する、請求項 3～6 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 8】

前記 CD96 阻害剤が、抗 CD96 抗体又は抗体断片である、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記医薬組成物は、1 つ又は複数の他の治療剤と組み合わせて投与されるものである、請求項 1～8 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 10】

前記 1 つ又は複数の他の治療剤が、化学療法剤と、PD1 及び CTLA4 の少なくとも一方と結合する 1 つ又は複数の抗体又は抗体断片とを含む、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

前記作用剤は、前記哺乳動物の 1 つ又は複数の細胞による、サイトカイン及びケモカインの少なくとも一方の発現、分泌、又はそれらの両方を増加又は増強する、請求項 1～10 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 12】

前記サイトカイン及びケモカインの少なくとも一方が、MIP-1、MIP-1、RANTES、TNF-、及び IFN-を含む、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記サイトカインがインターフェロン（IFN-）である、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

前記 1 つ又は複数の細胞が、CD4⁺ 及び CD8⁺ T 細胞、T 細胞、及び NK T 細胞、及びナチュラルキラー（NK）細胞を含む T 細胞である、請求項 11、請求項 12、又は請求項 13 に記載の使用。

【請求項 15】

前記医薬組成物は、前記哺乳動物の癌又は癌転移を治療又は予防するための医薬組成物である、請求項 1～14 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 16】

前記医薬組成物は、前記哺乳動物のウイルス感染症を治療又は予防するための医薬組成物である、請求項 1～15 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 17】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 1～16 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 18】

CD96 阻害剤を、スクリーニング、設計、遺伝子操作、又は他の手段で製造するための方法であって、候補分子が、CD96 活性を少なくとも部分的に阻害又は低減することにより、哺乳動物において免疫抑制を軽減すること、又は免疫監視を強化又は回復させること、又はそれらの両方が可能であるか否かを決定するステップを含む方法。

【請求項 19】

前記 C D 9 6 阻害剤が、C D 9 6 の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合又は相互作用する、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記 C D 9 6 阻害剤が、ドメイン 1 ; ドメイン 2 ; ドメイン 3 ; ドメイン 1 及びドメイン 2 ; ドメイン 1 及びドメイン 3 ; ドメイン 2 及びドメイン 3 ; 並びにドメイン 1、ドメイン 2 及びドメイン 3 からなる群から選択される、C D 9 6 の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合又は相互作用する、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記 C D 9 6 阻害剤が、ヒト C D 9 6 アイソフォーム 2 (配列番号 2) の 1 つ又は複数の外部免疫グロブリン様ドメインと結合又は相互作用する、請求項 1 9 又は請求項 2 0 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記 C D 9 6 阻害剤が抗体又は抗体断片である、請求項 1 8 ~ 2 1 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記 C D 9 6 阻害剤が抗癌剤である、請求項 1 8 ~ 2 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記 C D 9 6 阻害剤が抗ウイルス剤である、請求項 1 5 ~ 2 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 1 8 ~ 2 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 6】

請求項 1 8 ~ 2 5 のいずれか一項に記載の方法により、スクリーニング、設計、遺伝子操作、又は他の手段で製造された C D 9 6 阻害剤。

【請求項 2 7】

請求項 1 ~ 1 7 のいずれか一項に記載の方法により使用するための、請求項 2 6 に記載の C D 9 6 阻害剤。